

歯周病菌が全身をめぐる！！

歯周病とは歯を支えている骨が溶ける歯ぐきの病気で、お口の中にいる細菌が原因になる事は、ご存知かと思います。その細菌がお口の中に留まらず全身をめぐっていたら…

歯周病菌が全身に及ぼす影響

近年では、歯周病菌がお口の中で悪さをするだけでなく、全身に深刻な影響を及ぼしかねない事が分かってきました。歯ぐきから出血（血管が破れること）があると、破れた血管から、歯周病原細菌や毒素が血流に入り、全身に運ばれて全身の臓器に悪影響を及ぼす恐れがあります。

◆◆◆歯周病菌と全身疾患◆◆◆

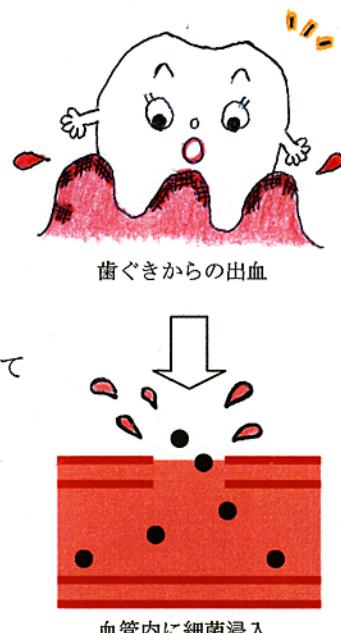
心臓病…歯周病菌による炎症から血栓（血のかたまり）ができやすくなる為、動脈硬化を招き心筋梗塞や狭心症などを引き起こす事があります。

心臓の弁膜や内膜に発症する“細菌性心内膜炎”的ほとんどは口の中の細菌が原因といわれています。

糖尿病…糖尿病は歯周病を悪化させる因子のひとつであることは以前から知られていましたが、同時に歯周病が糖尿病を悪化させる原因になることも解明されてきました。これは、歯周病菌がインスリンの働きを阻害しているといわれています。

低体重児出産…歯周病に疾患している部位から、毒素や歯周病菌が血液中に入り、
早産 胎盤を刺激すると、胎児の成長に影響を与えたたり、子宮の収縮を促すなどして、低体重児出産や早産のリスクが高くなります。

誤嚥性肺炎…お年寄りや寝たきりの方に多く、嚥下（えんげ：飲み込む事）反射がうまくいかない為、食道を通らずに誤って気道へ入り、歯周病菌が肺や気管支に感染して起こす場合があります。



その他にも脳梗塞、胃潰瘍、関節リウマチ、関節炎、皮膚炎、骨粗しょう症など、歯周病菌が全身をめぐるとさまざまな全身疾患を患うリスクが高くなります。お口の中の健康状態を良好に保つということは、全身疾患から自分を守る事につながります。

歯周病の症状



STOP!!歯周病!!

歯周病は“静かなる病気”といわれるほどで、初期の段階ではほとんど症状がなく、気がついた時には重度まで進行しているケースが多いのです！重要なのは正しいブラッシングです！生活習慣の改善も予防につながり、早期発見、早期治療により、進行を止める事もできます。ご自分のお口の中を知る為にメインテインスを受け、身体の健康をお口の中からはじめましょう。お口は健康の入り口です！